

## 平成 25 年度事後評価

整備計画名称	成果目標	事業効果の発現状況 (最終年度)	整備事例
<p><b>H21-P1 (H24-P1)</b> 京都市の市街地における広域幹線道路網の構築と円滑な道路交通を確保する道路整備</p> <p><b>H21-P1 (H24-P9)</b> 京都市の市街地における広域幹線道路網の構築と円滑な道路交通を確保する道路整備 (防災・安全)</p>	<p>現況(平成21年度当初)～最終目標(平成25年度末)</p> <p>① 事業区間の周辺道路における渋滞損失時間(渋滞によって遅れた時間に交通量をかけた値)の削減 渋滞による損失時間削減率 70%(最終目標)→<b>40%(最終実績値)</b></p> <p>現況(平成24年度当初)～最終目標(平成25年度末)</p> <p>② 対象路線における歩道整備率 33%(最終目標)→<b>33%(最終実績値)</b></p>	<p>・「京都高速久世橋線(油小路線工区)」、「竹田街道外1」等の完成により、周辺道路における渋滞損失時間が削減され、一定の効果が発現した。</p> <p>・「向日町上鳥羽線」、「梅津太秦線」等の完成により、対象路線における歩道整備率は目標通り達成できた。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>京都高速久世橋線(油小路線工区)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>竹田街道外1</p>  </div> </div>
<p><b>H24-P3</b> 災害に強く円滑に通行できる道路整備</p> <p><b>H24-P10</b> 災害に強く円滑に通行できる道路整備(防災・安全)</p>	<p>現況(平成21年度当初)～最終目標(平成25年度末)</p> <p>① 山間部集落から中心地域(区役所)までのアクセス時間短縮 10分(最終目標)→<b>13分(最終実績値)</b></p> <p>② 国道・府道の山間部道路で災害により通行規制を行った件数の減少 13件(平成21年度当初)を11件に減少(最終目標) → <b>23件(最終実績値)</b></p>	<p>・ 国道 162 号栗尾バイパス事業における京北トンネル等の完成により、アクセス時間の短縮は目標通り達成できた。</p> <p>・ 通行規制件数(平成25年度)については、台風18号等により大きな被害が発生したことから増加した。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>栗尾バイパス(京北トンネル)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>大山崎大枝線</p>  </div> </div>